

# pdfToolbox の特徴



## すばやく PDF 変換

Word、Excel、PowerPoint などの Office ファイルは、メインウィンドウにドラッグ&ドロップすることで PDF 変換できます。\* PostScript や EPS ファイルは Adobe 社より提供された Adobe Library を使用した PDF 変換が可能です。既存の PDF を、指定した PDF 設定（.joboption）で再作成することもできます。

この他、JPEG、TIFF、PNG ファイルの PDF 変換をサポートしています。

\* 対応するソフトウェアがインストールされている必要があります。

## カンタン操作で、印刷用 PDF に

スイッチボードのボタンを押すと、PDF を印刷用に整えるためのツールにアクセスできます。CMYK やモノクロ変換、明るさの調整、用紙拡張、トンボの追加、PDF/X 変換、透明分割、テキストのアウトライン化など、ボタン操作でカンタンに実行できます。カスタマイズしたフィックスアップを登録してボタンに追加することも可能です。

## 問題を視覚化 – ビジュアライザ

プリフライトで検出された問題が、実際に印刷時に問題となるか確認したい場合はありませんか？ pdfToolbox はインキ使用量、画像解像度、ヘアラインなどを視覚化するビジュアライザ機能を搭載。

視覚化する条件を右側のプロパティに入力すると、問題箇所がハイライトされ、どの領域でどの程度、問題が発生しているかを一目で確認できます。ビジュアライザの結果はレポートとして書き出すことも可能です。

## 便利な色変換

pdfToolbox は、Word、Excel、PowerPoint などのオフィスソフトから作成された PDF に最適化されたカラー変換プリセットを搭載。だれでも簡単にカラーやモノクロの印刷用 PDF を作成できます。また、明るさの調整ツールで、モノクロ化した PDF 全体の明るさや暗さを変更できます。

## ページの管理

複数または単独の PDF から必要なページのみ抽出し、別の PDF に統合したいことはありませんか？ pdfToolbox に搭載されるページ管理機能を使うと、各ページをドラッグし、簡単に必要なページのみ含まれた新規 PDF を作成できます。

## DeviceLink アドオン\*

このところ印刷に使用されるインキ削減、コストダウン実現の要望が高まっています。一般的には高額なソフトにより実現可能ですが、費用対効果のバランスが難しい所です。

pdfToolbox は DeviceLink（デバイスリンク）\* ツールで PDF の入稿データをプリフライトすると同時にインキ削減を実行します。もちろん誰でも簡単に行え、しかも色味の確認もプルーフ出力をすぐに行えるので安心です。

また、独自に用意した DeviceLink プロファイル \*\* も利用可能ですので、インキ削減の目的だけでなく、印刷しやすいインキ総量の制限や社内の異なる印刷機の仕上がりを標準色に統一する事も不可能ではありません。

\*DeviceLink アドオンは有償のオプション機能です。

\*\*DeviceLink プロファイルを追加する場合は、別途 DeviceLink プロファイルを用意する必要があります。

